

公民共創アドバイザー

フリガナ 氏 名	カマダ センイチ 鎌田 千市
会社・組織名	紫波町
所属部署	
役職名	町長

「令和 8 年度公民共創アドバイザー派遣事業実施要綱」第 2 条に定義される分野

☒ PPP / PFI ☐ 公共施設マネジメント ☐ 地域イノベーション連携 ☐ その他

事業主体名	事業名	事業概要
公益社団法人岩手県サッカー協会	岩手県フットボールセンター整備事業	県サッカー協会とオガール紫波㈱、町の三者協定により事業構築。日本サッカー協会の助成を受け、PPP 手法を活用して、県サッカー協会が整備を行った。
紫波町	オガール東・西広場整備事業	紫波町がオガール広場を整備するにあたって、「緑の大通り担い手づくりワークショップ」を実施。
紫波町、オガールプラザ株式会社	紫波中央駅前町有地活用事業（その 1）（仮称）紫波町交流促進センター整備事業	オガール紫波㈱と町の協定により事業構築。PPP 手法によりオガールプラザ㈱が官民複合施設オガールプラザを整備し、完成後、町が公共施設部分（図書館と地域交流センター）を買取り。
紫波町、オガールベース株式会社（社名変更前）	紫波中央駅前町有地活用事業（その 3）	未利用町有地（事業用定期借地権設定）を活用する事業者を公募。選考委員会を経て、民間複合施設オガールベースが整備された。
紫波町	オガールタウン日詰二十一区宅地分譲	町が 57 区画の宅地を直接分譲。町産材活用と断熱・気密に優れた紫波型エコハウス基準を策定。建築条件付土地売買で町内指定事業者が施工することを条件に分譲中。
紫波町、オガールセンター株式会社	紫波中央駅前町有地活用事業（その 4）	オガール紫波㈱を未利用町有地（定期借地権設定）の事業予定者として実施方針を発出。オガールセンター㈱が事業主体となり、官民複合施設オガールセンターが整備された。
紫波町、社会福祉法人共助会	紫波中央駅前町有地活用事業（その 4）	町がオガール紫波㈱に委託し、町有地（事業用定期借地権設定）を活用して民設民営保育所を整備・運営する事業者を公募。共助会が事業主体となり、民設民営オガール保育園が整備された。
紫波町、株式会社ひづめゆ	紫波町旧庁舎敷地活用事業	旧庁舎跡地（事業用定期借地権設定）を活用する事業者を公募。選考委員会を経て、民間複合施設ひづめゆが整備された。

紫波町、(株)いわてアスリートクラブ	紫波町スポーツ交流拠点施設（クラブハウス）整備事業	民間提案制度で、紫波運動公園内に J3 のいわてグルージャ盛岡が使用するクラブハウスを整備する提案があり、デジタル田園都市国家構想交付金と企業版ふるさと納税により資金調達を見込み整備に着手。
紫波町、(株)マザー・オガール地方創生アカデミー	旧長岡小学校活用事業、ノウルプロジェクト	旧長岡小学校を活用する事業者を公募。選定委員会を経て、ノウルプロジェクトを採択。その後、町が増資し、第三セクターとし、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し官民複合開発の整備に着手。

経歴	平成 5 年 4 月 紫波町入庁 総務課・税務課・商工観光課 平成 19 年 4 月 経営支援部企画課政策調整室 平成 19 年 4 月 東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻に教育派遣 平成 20 年 1 月 経営支援部企画課 公民連携室 平成 25 年 4 月 〃 公民連携室長 平成 31 年 4 月 企画総務部 企画課長 令和 5 年 4 月 企画総務部長 兼政策統括監、兼資産経営課長 令和 6 年 4 月 企画総務部長 兼政策統括監、兼地域づくり課長 令和 7 年 10 月 紫波町退職 令和 8 年 2 月 紫波町長就任	
得意とする事業分野 (具体的な内容を記入)		※参考として別表「分類表」を添付します。 複合施設整備
資格等	なし	
主な著書等	なし	
その他 特記事項	国土交通省 PPP サポーター（平成 29 年度～） 内閣府 PPP/PFI 専門家（令和 3 年度～） 東洋大学 PPP 研究センター リサーチパートナー	